

**「下宇川地域の農地・農業を考えるワークショップで課題と対応策を明確化」**  
 (京都市京丹後市丹後地区定例会)(令和元年度11月)(第16回)

担い手への農地利用の集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の促進

その他(農業委員会の体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月27日 午後7時30分～9時
- 場 所: 丹後町尾和会館
- 出席者: 委員1人(欠席1人)、最適化推進委員4人  
委員以外: 下宇川5集落役員9名、市農業
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川両岸の水田地帯と沿岸の水田農業が中心
- 大規模経営法人と担い手農家による水田経営が展開されている
- 宇川地域で再ほ場整備事業がスタートして受けて法人の設立が課題

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 下宇川地域5集落の区長さんと農事役員さんが参加してWS(日方委員と金羽委員がファシリテーター役)
- 農地・農業の現状(課題): Aグループ①ほ場が小さい②米作りの費用が掛かる③耕作者がいない④米が安い⑤獣害被害がある
- 農地・農業の課題対応: Aグループ①ほ場整備を費用をかけずに実施②農機具の共同利用(組合)③新規就農者・営農組合化
- ④JAの対応や価値ある米作り⑤施策要望
- 農地・農業の現状(課題): Bグループ①米が安い②農地(獣害)の課題③人手不足
- 農地・農業の課題対応: Bグループ①ブランド米・消費者PR・機会を安くする②ほ場整備やほ場の転用
- ③地域がまとまる・機会を活用する

- 4 活動結果
- 情報・意見交換 **1.5** 時間
  - 担い手への集積 a 増加
  - 遊休農地面積 a 解消
  - 新規就農者 人 支援